

サービスマーケティング体験談

氏名	正林 美季子 (しょうばやし みきこ)
学部	APS
参加プログラム	Old Dominion University – Externship Studies Practicum (ESP) 5 ヶ月プログラム
参加時期	2015 年 6 月～11 月

「これまで学んできた英語を、日本を飛び出し、実際に英語の環境で使ってみたい。」これが、私がサービスマーケティング ESP プログラムに応募した動機でした。

ESP プログラムへの参加を通じてあえて「国際学生」の立場になることで、今後の APU 生活だけでなく、卒業後もずっと自分の背中を押し続けてくれるような様々な貴重な経験をする事ができました。その中でも特に「挑戦して良かった」、と感じている経験を 2 つ紹介したいと思います。

1 つ目は、留学先大学であるオールドドミニオン大学(ODU)でテニス部に入部したことです。もともと APU でもテニス部に所属していたこともあり、留学期間中にもプレーができるよう日本からラケットを持って行っていました。しかし、「友達が増えるといいな」と期待しながら入部してみたものの、実際にはなかなかチームの輪に入ることができませんでした。原因は私の英語力でした。チームメイトが話す英語は、私がそれまで授業で勉強してきた英語とは文章の構成やスピードなど全く異なるもので、彼らの会話を理解することができなかつたのです。しかし、折角日本からラケットを持って行って入部したのです。私は、「絶対にチームの輪に入ってみせる！」と決心し、まずは分かりやすい単語や発音しやすい単語などを覚えた上で練習に挑むようにしました。最初は大変でしたが、それでも頑張っ続けてしていると、徐々に、チームメイトの会話も理解できるようになりました。また、自分の意見をチームメイトに伝えることも出来るようになり、次第にチームのメンバーとして受け入れてくれるようになったのです。日本に帰国する前、選抜メンバーとして対外試合に出場することが出来たことは、非常に嬉しく、また、「諦めずに挑戦して良かった!」と心から思った出来事です。留学期間中に、クラブ活動に参加してみたいな、と考えている方は、ぜひ ODU のホームページをチェックしてみてください。クラブや団体の紹介の他、それらへの参加方法が掲載されています。

2 つ目は、日本語ボランティアへの参加です。留学中、ODU で日本語を教える日本語教員より、「日本語ボランティアを募集しています!」というメールが送られてきました。もともと、人に何かを教えることが好きだった私は、留学を通じてより多くの人と友達になりたいと思っていたので、すぐに「参加します!」と返信しました。ODU の日本語ボランティアは、日本語の授業を受講している ODU 学生とペアになり、彼らが行う「日本語インタビュー」の課題や日本語のテスト勉強をサポートするといった活動を行うものです。私は 2 人の学生とペアになりました。1 人はとても真面目で日本語が上手な学生、もう 1 人はいつもいろんなところに遊びに連れて行ってくれる学生

でした。2人とは、毎週のように授業の合間や自由時間などに会って時間を過ごし、私は2人に日本語を教え、私は彼らに英語を教わりました。この日本語ボランティアで出会った2人とはとても仲良くなり、日本に帰国した今でもメールのやりとりを続けています。

ESPに参加するからには、「英語環境における集中的な英語学習」「実践的英語力の向上」、「エクスターンシップ実習による職場体験」等に全力で取り組むのは当然のことで、それだけに取り組んでいたのでは、留学という貴重な機会を十分に活かしたとは言えません。良い出会いや機会は、授業や実習以外にもたくさん転がっています。実際、上述の2つの経験とも、ESPプログラムの授業外の時間を活用して個人的に取り組んだ事柄でした。私は、積極的に挑戦する姿勢を持ち続けることによって、そのような豊富な機会の存在に気づくことができ、また、より充実した留学が送れるのだと実感をもって確信しています。

このESPプログラムに参加してからというもの、何事にもまずは挑戦してみるようになりました。「自分を少しでも成長させたい」、「何かにチャレンジしたい」と思っている方、是非サービ斯拉ーニングESPプログラムに参加してみてください。